

【例題－警察官A2】

世界の水産業に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 世界の漁業生産量は減少傾向にあるが、養殖業生産量は年々増加している。日本でも遠洋漁業の衰退に伴い養殖業が発達し、現在は養殖業生産量が漁業生産量を上回っている。
2. 大陸棚やバンク、暖流と寒流が接する潮境は、魚類の餌となるプランクトンが多く、好漁場となる。太平洋北西部や大西洋北東部は、このような漁場として早くから開発されてきた海域である。
3. 太平洋南東部は漁獲量が最も多い海域で、アンチョビー漁が盛んである。この海域に面するペルーとチリは現在、国別の漁業生産量で世界1位、2位を競っている。
4. 世界の水産物貿易は、数量・金額ともに減少傾向にある。中国では漁業生産量が減少しているため、水産物輸入が増えており、中国の輸入金額は、近年日本を抜いて国別で第1位となっている。
5. 水産資源の管理は国際的な課題となっている。マグロの漁獲規制は行われていないが、捕鯨は厳しく規制されており、商業捕鯨モラトリアムの下で「先住民生存捕鯨」も禁止されている。

(正答) 2